月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第　６４号
令和８年１０月７日発行
発行者　校長 黒島　　敏

先日、札幌にも大雨が降り、月高のグラウンドにも大きな水たまりが数カ所できました。水たまりに産卵するトンボの姿を見て、「秋だな～」と思うと共に、「絶対に孵化しない」であろう卵を産み、必死で子孫を残そうとする姿を見てもの悲しさを感じる日々。

世間では、悲惨な事件や事故が報道されていますが、「もう少し広い視野で見ていれば防げるのに・・・・」と感じる事も多く、月高生の皆さんには目先の事に必要以上に囚われず俯瞰（ふかん）して身の回りを見ていただきたいな～と思います。

秋とはいえ、あっという間に寒くなると、「北海道も最近は夏の後にすぐ冬だな。秋がない。」という言葉にも同感する毎日。

■高文連全道音楽発表会の当番校

９月 30 日、10 月 1 日と、高文連の全道音楽発表会の当番校業務でした。6 月 23 日号でも少し触れましたが、当番校の校長は、全道の顧問の先生方が歌う合唱（「ふるさと」）の指揮をする、という慣例があります。

今年の４月から、その話が、心の中に澱（おり）のようにつもって気にかかり、大変なプレッシャーでしたが、無事？終了しました。様々な先生方から冷やかしやら感想やらを頂きましたが、私は満足です。今年の最大の仕事？が終了しました。人生、最初で最後の指揮経験が札幌コンサートホール Kitara であることも良い冥土の土産になりそうです。お手伝いの吹奏楽、マンドリン、放送局の生徒、そして先生方、大変お疲れさまでした。他校の先生からは「月高の生徒は指示が一発で通ってさすが優秀だ」とお褒めの言葉を頂きましたよ。

来年はオホーツクの北見柏陽高校が当番校です。本校の吹奏楽部部長から、北見柏陽の器楽局（というらしい）の部長に当番校の旗が手渡されるというセレモニーもあり、カンペを見ながらあいさつをした私とは違い、2 名ともペーパーを見ずに立派なあいさつをしていました。なんか負けた。

■デート DV

10 月 2 日(金)の夜、定時制ではデート DV をテーマに防犯教室が実施されました。講師は法務省人権擁護委員の松山様という方でした。ご挨拶に見えられた際にお話を聞くと、月高の卒業生で、娘さんも月高に通われていたということ。

月高に在学していたのは昭和 40 年代の前半ということで、当時は「学生運動が華やかであった・・・・」ということです。当時の校長先生が、月高から他校へ転勤したあと、転勤先で校長室に軟禁された、というエピソードも伺い、「その時の校長でなくてよかった～」と実感。

現役時代は学校の先生をなさっていたそうです。法務省の人権擁護委員というのは、調べたところによると、完全なボランティアで行われてるそうで、こういった方々の好意というか熱意で、事業が支えられているんだということがわかります。最近の人手不足とか人材不足も、こうした方々の高齢化や引退に原因があるのかもしれません。

講話の内容は若者が陥りがちな、「恋愛感情とハラスメントの混同」の例が話されました。①彼女を束縛するストーカー的男子、②彼氏にプレゼントや食事をねだるいただき女子、③恋愛感情をタテに性的な行動を迫る欲望男子、などなど、定時制だけでなく全日制でもあるあるの話でした。

束縛されても、いやだな～と本音では思う要求をされても、「私のことを好きだからなのね・・・・」と勘違いしてしまうのがやっかいなところです。

恋愛に盲目になってしまうと周りの意見を聞かなくなってしまうのも、よくある話です。「他人事とは思わずに・・・」といっても、当事者達は「自分たちは違う」とか思っていたり。

■あとがき

今この文章を書いている日の午後から、芸術鑑賞があります。来週は見学旅行。それが終われば定時制のバスケットボール石狩支部大会の当番校と、芸術の秋、スポーツの秋とか言いますが、体育系の部活動の新人戦も含めて、10 月は雪の降る前のひと踏ん張りとばかり、様々な行事があります。

寒暖差もあるので、インフルエンザやコロナなどの感染症にも気をつけてほしいところ。私も人混みに出るときには気をつけようと考え、久しぶりにマスクをしてみました。

特に見学旅行を控えた生徒は気をつけてほしいですね。コロナが通常の病気になった、と言っても苦しいことに変わりはありません。私も昨年の秋にコロナに感染しましたが、喉がカミソリでも呑んだように痛くて、今までにない症状に難儀しました。校長室から大して出歩いてもいないのに。。。。。

「着ているだけで疲労が回復する」衣類が、数年前から流行していますが、最初は上下で 1 万円以上していたのが、最近はワークマンなどの量販店でお手頃価格の商品が目白押し。

日々の疲労とストレスを感じている？私も、「NASA も認めた」などのキャッチコピーに惹かれ、早速買って着用しています。見た目は普通のスウェットの上下なのですが、実際に回復しているかどうかはともかくとして、なかなか着心地も良く、まあ部屋着としてもいいかなという感じ。ただ、若者が着るのとは違い、いい年のおっさんが上下スウェットでうろうろしていると、なんか違う・・・・。そう、昔、裁判所を傍聴したときに見た、被告人席に連れてこられた窃盗の容疑者のおじいちゃんのよう。

「なるべくこれ着て、外には出ないようにしよう・・・・」と思っているところです。

ただ、最近はスーツタイプの商品も発売されているとのことで、「仕事しながら回復できる！」というのであれば買ってみようかなと思っております。

※この文章を書いた後買いました。今度着て学校に来ようかなと思います。